

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピー越谷教室			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 25日		～	2025年 8月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数)	48
○従業者評価実施期間	2025年 7月 25日		～	2025年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様が支援をモニタールームで見学できるだけでなく、毎月月初に保護者同室のもと近くで支援を見れる体制を取り入れていること。	モニターの映りも意識した環境設定を行っている。また、お子さまの小さな表情の変化や微細運動の様子など画面越しでは伝わりにくいものに関しては、毎月月初に同室にて支援を近くで見えていただけるようにしている。	必要に応じて指導員が保護者様と一緒に支援の様子をモニターで見学し、支援内容の説明や解説などを行っていく。
2	支援内容をお子さま1人1人のニーズに合わせて都度プログラムを作成している。また、その日の体調や気持ちの状況に合わせて臨機応変に変更をしていること。	全職員がお子さまの個別支援計画に基づいて支援プログラムを作成し、お子さまの様子によって課題の難易度や量などを随時調整するようにしている。また、体調や気持ちの面に関してはお子さまの来所持に視診するとともに、普段との違いがある場合は職員間で共有をしている。	お子さまの変化が生じやすい進級や行事前後、長期休暇明けなどには特に状態に留意するとともに、必要に応じて支援で楽しむ時間や保護者様もしくは園の先生との面談の時間を設けていく。
3	毎月イベントだけでなく長時間の預かり集団等を行い、お子さまの「たのしい」だけでなく保護者様のリフレッシュの時間を提供していること。	イベントでは保護者様同伴にて参加をしていただき、親子で一緒に楽しめる取り組みを行うようにしている。また、保護者様が少しでも休める時間を作る為に、預かりを目的としたイベントを定期的に開催している。	長時間のイベントなどでは長い時間参加することが難しい場合もある為、都合に合わせて臨機応変に時間を短くしたりなど対応を都度行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との結び付きを強めていくこと。	地域への療育の周知活動だけでなく、定期的に連携を取り交流を行っていくことが求められるが、関係性が強い関係機関がまだ少ないことが課題とされている。	関係機関と定期的に連絡を取り合い、お子さま達の支援を途切れさせないように、放デイや習い事などの最新の情報を提供できるような仕組みづくりを行っていく。
2	指導員(面談)や保護者様同士(保護者会等)の話せる機会を増やしていくこと。	保護者様とお話をする時間は支援のフィードバック時はあるものの、面談をする時間が多く取れていない状況であるため、話しやすい環境を整えていくことが必要である。また、保護者会では大人数を一度に集めて開催することに少し難しさが見られるものの、定期的な開催をしていく必要がある。	定期的に職員から面談の提案を保護者様へさせていただき、家族支援としてサポートをする体制を作り実施していく。保護者会では悩みなどを気軽に話せるように、製作をしながらのイベント形式でおこなっていく。
3	地域との交流の場を増やしていくこと。	利用者様の通っている園への訪問は少しずつ増えてきているが、併用している他事業所との面談や連携の頻度は多いとは言えないため、適宜併用事業所などと連携し実状の把握と今後についての検討を行っていくことが求められる。	地域との交流ができるように園や他事業所とイベントを企画し開催していく。また、地域で開かれている催し物にも積極的に参加していく。